

磯節全国大会で

高橋敏雄さんが優勝

ひたちなか市文化会館で開催された「第33回磯節全国大会・決勝会」で、高橋敏雄さん（今泉地区／78歳）が初優勝し、392人の頂点に立ちました。

この大会は、日本三大民謡の一つ「磯節」の普及・伝承を目的に毎年開催されているもので、磯節は、本県水戸市・ひたちなか市・大洗町が発祥の地とされ、北海道の「江差追分」、福岡の「博多節」と並ぶ日本三大民謡とされています。

「磯節は、茨城県で格式ある民謡なので優勝できたことがとてもうれしいです。」と、高橋さんは話していました。



全国から392人が集まった「磯節全国大会・決勝会」で、自慢ののどを披露し念願の初優勝を果たした高橋敏雄さん



中田市長を訪れた統計功労者の皆さん（写真右から）田口さん、塚本さん、酒井さん、荻原さん

長年統計調査に従事した功績で 桜川市から5人が表彰

茨城県庁で行われた「平成23年度茨城県統計功労者表彰式」で、本市において長年各種統計調査に従事され、統計思想の普及と向上に努められた5人の統計調査員の方々に、橋本知事から表彰状が贈呈されました。

受賞おめでとうございました。

■総務大臣表彰／田口文雄さん（真壁町上小幡地区）、塚本昌夫さん（真壁町下谷貝地区）

■県統計協会総裁表彰／酒井潤一さん（中泉地区）、荻原雄一さん（楸田地区）、麻尾義行さん（曾根地区）

スミハツカップで南飯田

サッカースポーツ少年団がV2

桜川市総合運動公園をメイン会場に「小学生サッカー大会第6回桜川市スミハツカップ」が行われ、南飯田サッカースポーツ少年団が本大会2連覇を達成しました。

本大会は、(株)スミハツ（台山高森工業団地内）が、地域社会貢献の一環として毎年行っているもので、今年で通算18回目。

市内をはじめ近隣の市町から総勢25チームが参加し、2日間のリーグ戦を展開しました。また、大会期間中は、東日本大震災被災地への義援金を募り、参加チームなどから集められた善意の義援金は、日本赤十字社を経由し被災地に送られました。



第6回スミハツカップで見事2連覇を達成した南飯田サッカースポーツ少年団と父兄の皆さん



「つくし湖」の鯉のぼりは、観光の新たな所として、桜の花見や釣りで訪れた人たちの目を楽しませています。

五月晴れの「つくし湖」に 200匹の鯉のぼり

真壁町椎尾地区の「つくし湖」堰堤に、長さ50センチほどの可愛い鯉のぼり200匹が、湖面からの風を受け元気に泳いでいます。

これは、ひなまつり期間以外にも多くの方に桜川市に来てもらおうと石田君江さん（真壁町亀熊地区）とその有志が、5月の節句にちなんで企画。東日本大震災の復興祈願も込められ昨年開催されており、今年は、4月8日から5月10日までの期間に飾られます。石田さん達は、「自然豊かなつくし湖周辺にも、多くの人々が訪れ楽しんでもらえれば。」と、話していました。